

2019年度事業計画

自2019年4月1日 至2020年3月31日
公益財団法人大平正芳記念財団

事業計画概要

公益財団として3つの中核公益事業・「環太平洋学術研究奨励事業」、「北京日本学研究センターとの共同事業」、「当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業」について、個々の公益性にしっかりと留意しつつ、例年事業を着実に遂行する。

1 環太平洋学術研究奨励事業

(1) 第35回大平正芳記念賞

6件に対しクリスタル牌と 賞金 500万円

- ① 梅川葉菜氏(駒澤大学法学部専任講師)
『アメリカ大統領と政策革新—連邦制と三権分立の間で』
東京大学出版会 2018年
- ② 上英明氏(神奈川大学外国語学部准教授)
『Diplomacy Meets Migration: US Relations with Cuba during the Cold War』
Cambridge University Press 2018年
- ③ Richard Carney氏(China Europe International Business School)
『Authoritarian Capitalism Sovereign Wealth Funds and State-Owned Enterprises in East Asia and Beyond』
Cambridge University Press 2018年
- ④ 森万佑子氏(東京女子大学現代教養学部専任講師)
『朝鮮外交の近代—宗属関係から大韓帝国へ』
名古屋大学出版会 2017年

【特別賞】

- ⑤ 大泉啓一郎氏(日本総合研究所調査部上席主任研究員)
『新貿易立国論』 文春新書 2018年

- ⑥ 小島道一氏(東アジア・アセアン経済研究センター シニア・
エコノミスト)
『リサイクルと世界経済—貿易と環境保護は両立できるか』
中公新書 2018年

(2) 第33月回学術研究助成費 該当者無し

(3) 岩手大学大学院奨学金 応募無し

2 北京日本学研究センターとの共同事業

「大平コーナー」運営推進事業の一環として

- (1) 第15回「日本語優秀学位論文大会」の開催
※本年より6月20日前後(卒業式に合わせ)に表彰式を行う。

3 当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業

- (1) 公的機関を通じて故大平正芳の関係資料等の公開を行う事業。
 - ① 大平正芳記念館の運営のサポート

- (2) 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット及び「大平正芳記念財団
レポート」発行と無償配布の事業
 - ① 「大平正芳記念財団の事業」パンフレットの発行
 - ア 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット
 - イ 「大平正芳記念財団の事業活動」(2018年6月から2019年
5月まで)リーフレット
 - ② 「大平正芳記念財団レポート」第37号の発行
 - ③ 「硯滴考4、5」の発行

- (3) 財団HPのリニューアル
FACEBOOKでの広報活動